

図書館報 ぷらっつ★篠崎 052号

江戸川まいにんぐ 発掘 第52回

地名の由来～鹿骨

特集『 **冬の本** 』

- P4 そのメロディに魅せられて♪
『四季:ヴァイオリン協奏曲集』
- P4 ぷらっつDEシネマ
『さらば冬のかもめ』
- P4 スタッフのセレクション！
『奇妙なアメリカ』

江戸川区内のイベントやスポットを、スタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。



◆鹿見塚 石碑は昭和42年、神社は48年に再建された。



◆鹿島神社 右手前は神鹿(神の使いとして神社で飼っている鹿)

鹿の骨で“ししぼね”。区内の人でなければ読めない人がたくさんいるかと思えます。

むかし、常陸国鹿島郡(茨城県鹿嶋市)の鹿島大神が大和国奈良の春日社へ向かう途中、大神の杖となっていた神鹿が急病で倒れ、里人がこの地に神鹿を葬るために鹿見塚を築きました。この「鹿見塚伝説」が由来と言われています。

鹿見塚から600m北方に、鎮守鹿島神社があります。明治維新までは、この地の草分けであった五氏(石井、田島、牧野、中代、別系の石井)の氏神を合祀して、五社神明社あるいは五社神社とよばれていました。しかし、本来は「鹿見塚伝説」とも関係しており、里人がこれを奇縁として武甕槌命の分神と天照大御神のほか三神を勧請(*)、一社を建立して鹿島神社と名付けたといわれています。

明治22年には、本一色、興之宮、松本、鹿骨、上一色と谷河

内の一部が合併し「^{しかもとむら}鹿本村」が誕生。村名は鹿骨と松本から取ったという説があります。昭和7年の江戸川区誕生により再び、本一色町、興之宮町、松本町、鹿骨町、上一色町になりました。

鹿骨は600年以上前の文書にも地名の登場する古い土地で、鹿見塚を古墳ではないかとする説もあるそうです。現在は、花卉栽培が盛んに行われている地域で、「ほおづき市」や「朝顔市」に出荷される鉢物の産地としても広く知られています。

*勧請・・・神仏の分霊を他の地にも祭ること(新明解国語辞典第七版より)

住所

鹿島神社:江戸川区鹿骨4丁目9-17

鹿見塚神社:江戸川区鹿骨3丁目1-1

参考図書

『江戸川区の史跡と名所』学習・スポーツ振興課文化財係編 K1-29

『地名のはなし』江戸川区教育委員会社会教育課文化財係著 RK1-29キ

『江戸川区史全』東京都江戸川区役所／編 RK1-21

いずれも篠崎ほか所蔵

ライフラシネマ篠崎

「オペラ座の怪人」 ※サイレント映画
(1925年 アメリカ)

2月12日(日) 14時開演(13時半開場)

場所: 篠崎文化プラザ 講義室

定員: 50名(当日受付、先着順)

朗読会

「朗読に親しもう ～春の朗読会～」

3月12日(日) 14時開演(13時半開場)

出演: 江戸川総合人生大学朗読会

場所: 篠崎文化プラザ 講義室

定員: 50名(事前申込制)

2月18日(土) 14時より受付

篠崎図書館へ電話(3670-9102)またはカウンター

江戸川総合人生大学朗読会の皆様をお迎えして、春の朗読会を開催いたします。朗読を通して、物語の楽しさを味わっていただければ幸いです。

そのメロディに魅せられて♪

『四季：ヴァイオリン協奏曲集／ ヴィヴァルディ；千住真理子』

千住真理子 EMIミュージック・ジャパン
C5セ07699 篠崎ほか所蔵



「四季」とは「ヴァイオリン協奏曲集＜和声と創意への試み＞」全12曲の最初の4曲のことです。各曲にはヴィヴァルディ自身が書いたという説もあるソネット（ヨーロッパの定型詩）が添えられており、春夏秋冬それぞれの曲の情景をイメージしやすいのが特徴です。「四季」を聴いたことがある方でも、このソネットを見ながら聴けば、より曲の情景を思い描くことができるのではないのでしょうか。「春」が特に有名ですが、私が一番好きなのは「冬」です。こちらも非常に人気があり、特に第2楽章はそれだけで演奏されることも多く、耳にしたことがある方もいるかと思います。凍てつく吹雪を表した第1、第3楽章と暖炉のぬくもりを感じる第2楽章との対比が実に美しい曲です。

有名な曲だけあって、多くの演奏家がこの曲を演奏しています。それぞれに個性があるので、聴き比べて自分のお気に入りを探してみたいはいかがでしょうか。



ぱらっつDEシネマ



映画会「ライブシネマ篠崎」で上映した作品の背景や豆知識を紹介します。

2016年
12/12開催

『さらば冬のかもめ』 V1サ01629

篠崎ほか所蔵

本作は1973年公開のアメリカ映画で主演は若きJ・ニコルソンです。海兵のパダスキー（ニコルソン）達が命じられた任務は8年の刑期が待つ若い水兵の護送。到着するまでは少しでもいい思いをさせたいと男としての先輩風を吹かせるも、収監されることに対して自分達は何もできない——。破天荒な道行きながら護送者の深い人間性を描いた「アメリカン・ニューシネマ」の傑作です。1960年代後半から70年代初めにかけてアメリカ映画に新しい動きが生じたことをジャーナリズムがそう呼びました。『俺たちに明日はない』『卒業』などがきっかけとなった作品です。ヴェトナム戦争や公民権運動、要人の暗殺など、アメリカの保守体制を揺るがす国民的問題が、制作や倫理面で硬直化したハリウッドの体制をも大きく変化した時期でした。『真夜中のカウボーイ』など体制から外れた人間像が好まれた、とも。それはニコルソン演じるパダスキーにも通じるものがあるように思えますが、いかがでしょうか。

スタッフのセレクション!

『奇妙なアメリカ』

矢口 祐人著

新潮社 069ヤ 篠崎ほか所蔵

博物館・美術館など英語で「ミュージアム」と総称される施設の紹介を通して、アメリカの社会や文化を論じる異色の本です。経済大国として富が集まる一方、近年では貧困大国でもある。あらゆる分野で最先端の研究を行っているのに人口の40%は進化論を否定している。そのような点を評してアメリカは不思議で“奇妙な”国であり理解するのが難しいと著者は言います。本書を読み、興味深いミュージアムの内容を知りつつ、一元的には語ることができないアメリカの多面性を感じることができました。

全部で8つの施設を取り上げていますが、最終章では真珠湾の「戦艦アリゾナ号メモリアル」を紹介しています。2016年末に安倍首相が訪れたことで記憶に新し

篠崎図書館で働くスタッフが選んだ
おすすめ本を紹介します。



いのではないのでしょうか。海に沈むアリゾナ号をまたぐように建つ白い記念館の映像はニュースでもよく目にしました。命を落とした兵士を追悼するための施設というイメージがあったのですが、日本が真珠湾を攻撃するに至るまでの解説、1930年代の日本人の暮らしぶりや原爆の被爆者を紹介する展示もあるそうです。元々は愛国精神を高揚させるための施設でありながら多文化主義的に展示内容が変わってきた点に注目して本書は結ばれています。

大統領が代わり今後のアメリカの行方も気になります。この機会に知っているようで知らないアメリカについて理解を深めてみませんか。

編集後記

私が通った小学校では、掃除の時間に「四季」が流れていました。（ばるめりん）／
ここのところ朝布団から出られません……。早く春になってほしいです。（しろやぎ）
／冬物を買おうと思ったらすでにバーゲンが終わりかけており、出遅れを感じました。（徳丸）

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館

住所：〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19 篠崎文化プラザ内
TEL:03-3670-9102

[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>